

芦屋中央病院健診システム更新 事業仕様書

1 事業名称

芦屋中央病院健診システム更新事業

2 納入場所

芦屋中央病院（福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 283 番地 7）

3 契約期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで

4 目的

現行の健診システムの業務効率の課題を解消し、より安定的で操作性に優れた、将来的な拡張にも対応可能なシステムへの更新を図るとともに受診者の満足度を向上させることを目的とする。

5 基本事項

5.1 基本事項

- ① 予約管理機能（基本スケジュール作成、予約状況確認、個人予約／仮予約／キャンセル、団体予約枠設定）があること
- ② 業務処理機能（団体マスタ・契約・受診者登録・案内・受付・問診・結果入力・窓口会計・面談記録・案内一括送付・医師画面・ログビュー）があること
- ③ 受診者・健診状況に応じた帳票出力機能があること
（ア）健診案内文、問診票等が受診者の健診コースや属性に応じて自動的に出力できること
（イ）各帳票はカスタマイズ可能で、運用に即した柔軟な対応が可能であること
- ④ 全健診コースにおいて、受診者が実施したすべての検査項目が結果票に正確に反映されること
- ⑤ 全健診コースにおいて、受診者の要望に応じた請求書・領収書の出力等の請求処理が可能であり、処理結果について必要とする集計機能があること
- ⑥ 定期的なデータのバックアップおよび迅速な復旧ができること
- ⑦ ログ管理及びアクセス制限機能があること
- ⑧ 現行の健診システム（ソードシステム株式会社 Helmes）に蓄積されたデータについて、必要に応じて、データフォーマットの変換やマッピング作業を行い、データ移行すること
- ⑨ 令和 8 年 4 月に法改正等に基づく一般健康診断の検査項目等が変更となる場合は無償対応すること

5.2 連携機能

- ① 受診者属性取込、検体検査依頼・結果取込、電子カルテとの予約・結果連携、画像診断レポート取込ができること

- ② 電子カルテ上で健診結果を容易に参照できること
- ③ 健診システムに入力した予約情報が自動的に電子カルテに反映されること
- ④ 検査システム（ソードシステム株式会社 iLis）と連携すること
- ⑤ 当院既存 PACS と連携すること

5.3 放射線部門機能

- ① 電子カルテシステムおよび放射線部門システムとの連携
 - (ア) 健診システムの放射線オーダーは電子カルテ経由で予約時に RIS に連携され撮影がスムーズに行えること
 - (イ) 電子カルテシステムのナビゲーションマップより健診の結果（胸部一般撮影、CT（胸腹部）、MRI（頭部含む）、MMG、骨密度、腹部超音波）参照が行えること
 - (ウ) 健診システムの読影機能と PACS を連動させて第1次読影と第2次読影の効率的な管理が可能であること
- ② 健診システム内読影機能
 - (ア) 読影リストおよびフィルタ機能
 - ・ 読影対象者のリスト選択および表示ができること
 - ・ 読影リストは未読影者のみを抽出して表示できること
 - ・ 1次読影医別でリスト表示できること
 - A) A 医師 2次読影時、A 医師が1次読影をしていない対象者のリストを表示すること
 - B) 複数医師の読影を必要とする場合、第2次読影まで必要時は、1次読影医と2次読影医が別の医師の時にのみ確定できる、または容易に判別できる仕組みを持つこと
 - ・ 読影区分として、「第1次読影で完了」「第2次読影まで実施」「第3次読影まで実施」などの区分管理が可能であること
 - ・ 読影リスト上に第1次読影・2次読影の判定結果を表示し、判定に相違がある場合は色分け等により識別しやすくなっていること
 - ・ 読影リストから、読影入力画面を起動できること
 - (イ) 読影入力画面の機能
 - ・ 読影対象者のリストより読影入力画面起動時に、PACS 画像が高精細モニタに自動的に表示されること
 - ・ 画像自動表示を実現するため、電子カルテ端末またはレポートシステム端末に相乗りできること
 - ・ 読影入力画面に、既往歴や喫煙情報など健診の問診情報が表示されること
 - ・ 読影時に必要な問診情報等は速やかに取り込まれる仕組みであること（撮影直後より読影が可能となるため）
 - ・ 「異常所見なし」+A判定を簡易操作で登録できること
 - ・ 2次読影時、1次読影医の所見と結果を簡便に複写でき、追記変更ができること
 - ・ 入力漏れ（所見など）を防止する未入力チェック機能があること
 - ・ 前回の読影所見と判定を表示および簡便に今回所見に複写できること
 - ・ 部位の選択を簡便におこなえること
 - ・ 部位を指定した際、入力できる所見が簡便に絞り込まれること
 - ・ 読影入力画面から、読影所見判定が反映された精密検査依頼書が表示でき修正も行えること、作成された精密検査依頼書は他の健診端末から印刷できること

- ・ 前回判定が「要精密検査」であり、精密検査依頼書に対する返書がある場合、その内容を読影時に参照できること
- ・ 第2次読影時には、第1次読影の所見と判定が自動的に表示されていること
- ・ 最終報告結果は、第1次読影と第2次読影のうち、判定が重い方が選択されること
- ・ 第1次読影と第2次読影の所見及び判定が同じ場合、第2次読影の判定が自動的に最終報告結果として採用されること
- ・ 所見入力にて、デフォルトの判定が自動的設定されることまたその判定は、手動で変更可能であること
- ・ 所見入力後の更新時には、ログイン中の読影者が自動的に記録されること
- ・ 胸部 X 線検査において、じん肺検診の読影時は、じん肺検診用の所見入力画面が表示され、所見入力判定ができること
- ・ じん肺検診結果の出力フォーマットを有し、確定された所見及び判定が反映され、読影端末以外の健診システムからも印刷できること

(ウ) 読影作業の効率化

- ・ 読影入力確定にて、自動的に次の受診者の入力画面となること
- ・ 次の受診者に切り替えた際、PACS 画像も連動して切り替わること
- ・ PACS 画像の表示方法として、「画像を直接表示」「シリーズ一覧を表示」など表示形式を設定できること
- ・ 画像表示時、読影する画像と同時に、直近の前回画像（検診、診療、問わずに、同一検査、同一部位）を表示することが望ましい
- ・ 以前の読影レポートの検査・読影結果（読影レポートのリスト内容）を表示することが望ましい

5.4 拡張機能

- ① 精密検査管理機能があること
- ② 検診を受託する上で必要な統計等が容易に行えること
- ③ 個別帳票出力機能があること
- ④ データ出力機能があること

5.5 詳細機能

- ① 添付資料 別紙「健診システム機能要望書」の機能をすべて満たすこと

6 機器要求仕様

6.1 サーバー機器

- ① サーバーは健診システムが快適に利用できるスペックとすること
- ② 必要な容量の無停電電源装置（UPS）を接続すること
- ③ サーバー機器（UPS 含む）については当院サーバー室内の 19 インチラックに搭載すること

6.2 クライアント機器

① クライアント端末数量

設置場所	数量	備考
健診センター	4台	新規購入端末 ※詳細は次項に示す
健診センター	3台	電子カルテシステム相乗り（機器購入なし）
放射線科	1台	マンモビューワーシステム相乗り（機器購入なし）
読影室	1台	読影システム相乗り（機器購入なし）
エコー室	1台	読影システム相乗り（機器購入なし）
外科診察室	1台	電子カルテシステム相乗り（機器購入なし）
合計	11台	

② 新規端末および周辺機器

(ア) 端末および周辺機器等を当院で用意する必要がある場合は提案書に健診システムが問題なく利用できるスペックを含めて明示すること

7 運用・保守

7.1 通常保守および運用サポート

- ① 簡易または軽微な設定・帳票変更等については運用保守に含めること
- ② 保健師等が健診システムに関する質問ができる窓口を用意すること
- ③ 障害内容分析、設定変更等は遠隔対応としてもよい

7.2 障害対応

- ① 障害発生時の対応窓口を用意すること
- ② サーバーの障害対応については 365 日 24 時間対応とすること
- ③ その他機器（クライアント等）の障害対応については平日 9 時 17 時対応としてもよい

8 成果物の提出

8.1 本業務の実施結果について以下の書類を印刷物及び電子データにて各 1 部提出すること。

- ① 更新作業体制図
- ② スケジュール
- ③ システム構成図
- ④ 各種設定情報
- ⑤ 運用マニュアル
- ⑥ その他指示する書類

9 その他

9.1 調達

本調達でかかるその他雑材、消耗品、仮設材などは受注者負担とし、設備の更新にかかる材料費、調査費、検証費、設定費、試験費、接続費なども本調達に含むものとする。

9.2 撤去

更新に伴い撤去した機器などは、受注者が搬出し、適正な方法で処理をすること。また、機器等の仮置き場所などは病院側と協議し、仮置きできない場合は随時持ち帰ること。

9.3 不具合対応

不具合等が発生した場合、復旧に向けて早急に対応し、製品購入後、1年間は不具合が発生した場合（ただし故意の取扱いに関わる不具合を除く）は、無償にて修理、および点検調整等の対応を行うこと。

9.4 その他

この仕様書に記載されていない事項について、疑義が生じた場合は必要と認められる場合は、別途協議することとする。